

クルーズ船内観光・体験コンテンツ提供業務に係る

企画提案コンペティション 質問回答

	質 問	回 答
1	仕様書3.1 船内での観光コンテンツの提供・運営 (2)船内での観光・体験コンテンツの提供にあたっては、芸能団等の手配、当日の運営（多言語での司会等を含む）など、必要となるすべての業務を行うこと →上記に記載がありますが、多言語での司会ではなく司会者に通訳者を手配する形でも問題ないでしょうか。 また、当日の運営のほか、クルーズ船とのやりとりで多言語を使用する機会が発生することは想定されるでしょうか。	事業予算内で司会者と通訳者の両方を手配することは可能です。 また、クルーズ船との調整で多言語を使用する機会は想定しておりません。
2	仕様書4.1 船内観光コンテンツの手配・運営 (2)観光・体験コンテンツを実施する場所 ①シアター（大人数向け） ショーやライブなど各種イベントが開催されているため、音響、スクリーンなどの設備を借用する予定で見積額を積算すること →クルーズ船より借用することを前提とするという認識ですが、合っていますでしょうか。 その場合、積算にあたって音響、スクリーンなどの借用費用の相場金額を提示していただくことは可能でしょうか。	音響、スクリーンなどの設備はクルーズ船より借用することを想定しております。借用する費用はクルーズ船によって異なるため、企画提案時には同程度の公演時において、必要機材をレンタルした場合を想定してお見積りをお願いします。
3	万が一、船内での実施が何らかの理由でキャンセルになってしまった場合は、キャンセルまでに発生している費用については支払われますか（工数に対する人件費、準備にかかる物品等の調達や直前キャンセルの場合の出演者への補償など）	キャンセルの理由が沖縄県及びOCVBにてやむを得ないと判断された場合は、協議の上、キャンセルまでに発生した費用のお支払いをいたします。
4	提供する体験コーナー、ワークショップなどは、お客様から料金をいただいてもよいのか。 インストラクターやショップの準備だけ費用を計上し、材料代については体験者からいただく方式か、材料を想定個数分含めた制作費として、体験者に数量限定で、無償にて提供する方式。いずれがよいのか。	基本的には無償提供を想定しております。提供する体験コーナー、ワークショップ等に必要な経費は事業予算内にてお見積りください。
5	多言語対応について 司会、説明者などで英語または中国語対応を入れるとあるが、ステージコンテンツ、体験コーナーコンテンツごとに用意する必要があるか。	ステージコンテンツと体験コンテンツの提供時間が重なることも想定し、コンテンツごとに用意することが望ましい。
6	入船するにあたり、毎回どれぐらいの時間がかかるのか。（船側による手続き、説明などの有無、または簡略化されるのか） ステージコンテンツはリハーサル時間も必要となり、体験コーナー等は出店の準備など時間がかかるが、入船してからどれぐらいの時間を予定しているのかご教示ください。 ※拘束時間により、出演料、手配料が変わるため。 仮に、12時~20時の8時間拘束として算出し、提案が通った後で、その時間が伸び延長料金が発生する場合は、別途の支給となるか。	入船から下船まではクルーズ船社との調整により確定するため企画提案時に想定した拘束時間に変更があった場合は、OCVBと協議のうえ、提供するコンテンツの回数を変更するなど事業予算の範囲内で調整いたします。